

(見本 1)

(A4)

申立書

令和 年 月 日

広島県知事様

氏名

私は、(株)〇〇及び(有)〇〇の代表取締役を兼ねていますが、次の理由により  
宅地建物取引業の代表権行使に支障がないことを申し立てます。

(例) 上記2法人は同一ビル内(別部屋)にあるため。

(見本 2)

(A4)

申立書

令和 年 月 日

広島県知事様

氏名

私は、〇〇(業者名)の代表者兼専任の宅地建物取引士で、行政書士を兼ねて  
いますが、同一場所にて営業し、専ら専任の宅地建物取引士の業務に従事して  
いることを申し立てます。

(見本 3)

(A4)

申立書

令和 年 月 日

広島県知事様

氏名

私は、専任の宅地建物取引士と専任の技術者(管理建築士)を兼務していますが、これらの業務は、同一会社のものであり、また、同一場所で勤務していることを申し立てます。

(見本 4)

(A4)

証明書

広島県知事様

次の者は当社の非常勤役員であることを証明します。

1. 氏名 ○ ○ ○ ○
2. 役職 ○ ○ ○

令和 年 月 日

所在地 ○ ○ ○ ○

商号 ○ ○ ○ ○

代表者氏名 ○ ○ ○ ○

印

(A4)

(見本5)

申立書

令和 年 月 日

広島県知事様

住所

氏名

私は、現在、\_\_\_\_\_会社に、(専任の宅地建物取引士として)勤務しておりますが、令和\_\_年\_\_月\_\_日にて退職する予定です。その後、令和\_\_年\_\_月\_\_日付にて\_\_\_\_\_会社に入社し、専任の宅地建物取引士に就任する予定であることを申し立てます。

(A4)

(見本6)

承諾書

令和 年 月 日

広島県知事様

所在地

商号

代表者

次の者は、当社に(専任の宅地建物取引士として)勤務しておりますが、令和\_\_年\_\_月\_\_日にて退職する予定であることを承諾しております。

氏名

登録番号 ( ) 第 号

(A4)

(見本7)

申立書

令和 年 月 日

広島県知事様

氏名

私は、\_\_\_\_\_の代表者兼専任の宅地建物取引士で  
別人格の\_\_\_\_\_の行政書士を兼ねていますが、同一場所(別部屋)にて  
営業し、専ら専任の宅地建物取引士の業務に従事し、宅地建物取引業の営業時間内  
は行政書士の業務を行わないことを申し立てます。

行政書士の業務量は、\_\_\_\_\_程度であり、宅地建物取引業  
の営業時間外に業務を行っても建物取引業の営業には支障ありません。

(A4)

(見本8)

## 申 立 書

令和 年 月 日

広 島 県 知 事 様

氏 名

私は、令和 年 月 日から下記の理由により、住民票上の住所を居所に移していません。

【理由】

---

---

---

また居所の賃貸借契約書もしくは公共料金の明細の写しは、下記の理由により提出できません。

【理由】

---

---

---

つきましては添付の書類に記載の住所に現在居住していることを申し立てます。

【添付書類】

- ・ 

---
- ・ 

---
- ・ 

---